



JQR
Select Japanese Skills

ヨシダヤ商店
代々引き継がれた技は、長い年月を経て完成の域に
**檜風呂：伝統的な木風呂が叶える
湯浴みの悦楽**

Photography /Tomoya Takai Interview and text/JQR



ヨシダヤ商店社長の吉田厚一。父が興した木材販売店を1987年に古代檜（紅檜）浴槽の製造・販売元として継いでいる。

木風呂（木製浴槽）の製造は日本人の得意とするところだが、これは世界的にも広く知られていること。木風呂のもつ美しさ、温もり、柔らかな肌ざわりなどは、他の素材に並ぶものがなく、最高級の浴槽は昔から木風呂というのが定説だ。一般には木製浴槽を指して「檜風呂」と呼んでいるが、古くから木風呂に使われてきたのは高野槇（コウヤマキ）である。この木風呂製作を代々手掛けてきたのがヨシダヤ商店である。ひとつひとつ手作業で丹念に仕上げる木風呂は美しく、温もりのある芸術品だ。

木風呂のことを「檜風呂」と呼ぶのはなぜか？ ヨシダヤ商店社長の吉田厚一が説明する。

「最高級の木風呂は『紅檜』で作られることから、呼称されるようになりました。この木は台湾の高地に自生する古代檜で樹齢千〜三千年。樹高25m、直径3〜4mにまで成長します」

トールキンが『指輪物語』で「エント」の伐採を禁じたように、紅檜

の伐採も30年前に禁止された。故に現在では入手困難な稀少材である。しかし1934年に京都で木材販売店を始めていた吉田の父は、伐採禁止となる前にならざるに在庫を積んでいたという。1987年（昭和62年）、吉田は古代檜の販売代理店として、古代檜の浴槽の販売を始めた。「現在日本で古代檜（台湾紅檜）を取り扱っているのは当店だけです。木風呂の製造まで手掛けているのは珍しいでしょうね」

台湾紅檜は浴槽に最適な材質だ。狂いが少なく、精油を含んでいるので自然の抗菌作用がある。そのため温かく湿った場所が好きな微生物、細菌、カビ、ウイルスなどを寄せ付けない。そして、豊かな芳香も楽しめる。最高級の木風呂というのも頷ける。

**ほぼ完璧に仕上げる
熱意と自負**

浴槽は、一つひとつ顧客の注文に応じて製作される。樹種や形が決まると、吉田は在庫の山から使う材木を選び出す。

「精油の量は充分か、時間が経っても大きな狂いが出ないか、目で見て美しいと感じるか、などをチェックします」

代々受け継がれてきた手法をベースに、吉田自身の長年にわたるノウハウやアイデアが注ぎ込まれる。風呂の仕様によって異なるが、完成には1〜3週間かかる。顧客が漆塗りでの仕上げを希望すると、組み立て前の各部材に漆を8層塗り重ねる。「完璧なんてありませんよ。でも、うちの風呂はほぼ完璧に近いんじゃないでしょうか。この仕事を始めて30年になりますが、今まで一度もクレームをいただいたことがありません」

吉田の木風呂製作に対する熱意、品質に対する自負はここに集約されている。

「最も重要なのは研磨する工程。細かい部分をないがしろにしてはダメです。漆を塗ればすぐにわかってしまう。美しく豊かな黒髪でも、白髪が一本でもあればそこに目が行ってしまう。たった1本でもね」

最新作の卵形木風呂。カーブがタイトな面を背にすると、豊かな湯の醍醐味が味わえる。カーブが緩い一面にもたれかかると、菌にくるまれたような居心地の良さが感じられる。

TAKUMI

JQR Select Japanese Skills





1 製作する桶の形や使うが決まると、材料となる材木を吟味して選び出す。古代檜(紅檜)の板材は通常、幅60cm、長さ4m。

2 浴槽の形に応じて使う、かなややすりが並ぶ道具置き場。大小様々な道具を使い分けて、微妙な曲線や角度を出す。

3 組立ててからも、かながけ、面取り、最終磨きをする。目で見て美しく、木肌のなめらかさが伝わるように仕上げる。



4 側板の厚みは33～40ミリ。側板の幅があると高級に見えるが、品質には影響しない。底板は厚さがあるほど丈夫になる。

5 漆仕上げにも応じる。木の呼吸を妨げず、抗菌作用に影響を与えない漆を選び、部材一つずつに、一日に一層ずつ塗り重ねる。

6 木風呂を乾かすために、浴槽の周囲に隙間を設ける。木は完全に水に浸かっているか、すっかり乾いていると、長持ちする。



丸形の浴槽を作るとき使う、専用の定規。

実はとても簡単な木風呂の手入れ

木風呂の手入れは面倒だと思いがちだが、吉田によるとそれは先入観にすぎないという。

「そういうイメージを持つ人が多いのは残念ですね。実は、木そのものに抗菌作用があるので、風呂用洗剤などを使う必要はありません。洗剤を使うと、かえって桶を傷めてしまいます。もちろん、ほったらかしにしているのはダメです」

確かに、木風呂は水を落としても「水位線の汚れ」が残らない。それゆえ手入れを怠りがちになるが、浴槽を使った後に柔らかい布で表面の水気を拭き取るだけでいい。それだけで、換気のいい浴室にある浴槽は30年も長持ちするという。たったこれだけの手入れさえもしないと、15年ほどで鉋掛けをするなど修理が必要になる。何週間も使わないときは、水を張ったバケツを浴槽の中に置き、木が乾き過ぎないようにす

ることが肝心だ。「でも、カラカラに乾くと竹くぎやたがが緩むから、修理はとてもしやすくなるんですね。それで水漏れする溝をうまくふさいだりできるんです。そのあと木風呂の形が崩れないように締め直すこともできますからね」
まろみを帯びて肌に優しい湯に、清々しい香りの木風呂。そんな木の温もりが楽しめる、豊かなバスタイムを過ごしたいものだ。



有限会社 ヨシダヤ商店
〒520-3421
滋賀県甲賀市甲賀町上野1397番地
TEL: 0748-88-2793
FAX: 0748-88-2575
URL <http://www.kiburo.jp>



木風呂の魅力のひとつは、形を自由に決められること。丸形、卵形、角形や、斜めに角度をつけることもできる。屋内ばかりでなく戸外に設置することもでき、30年は持つ。しかし塩素にはとても弱く、木が持つ抗菌成分を破壊してしまうので、注意が必要だ。